

吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年 2 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。火山性地震はやや多い状況で推移しています。

引き続き、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので、警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2～3）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは 50～300m で推移し、噴気活動のやや高まった状態が続いています。

・ 地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は昨年 10 月以降、やや多い状況で推移しています。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図 5～6）

広域の GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

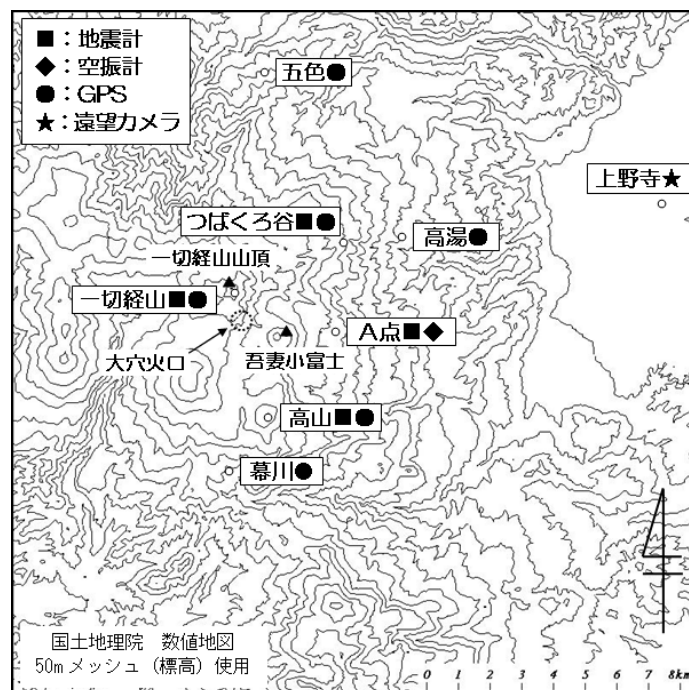


図 1 吾妻山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 3 月分）は平成 22 年 4 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状況（2月21日11時36分頃）
 福島市上野寺に設置した遠望カメラによる（大穴火口から東北東約14km）。
 大穴火口からの噴気の高さは200m。

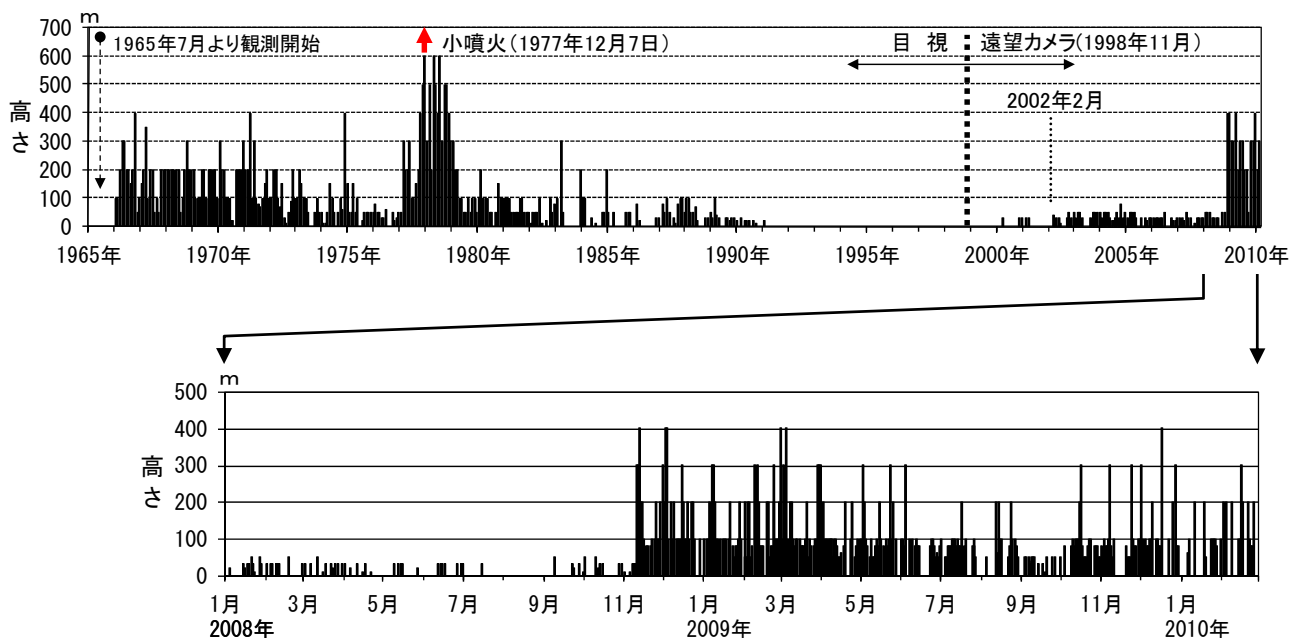


図 3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965 年 7 月～2010 年 2 月）
 下段：日別最大噴気高（2008 年 1 月～2010 年 2 月）

1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。

1998 年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。

2002 年 2 月以前は定時（09 時、15 時）及び随時観測による高さです。

2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

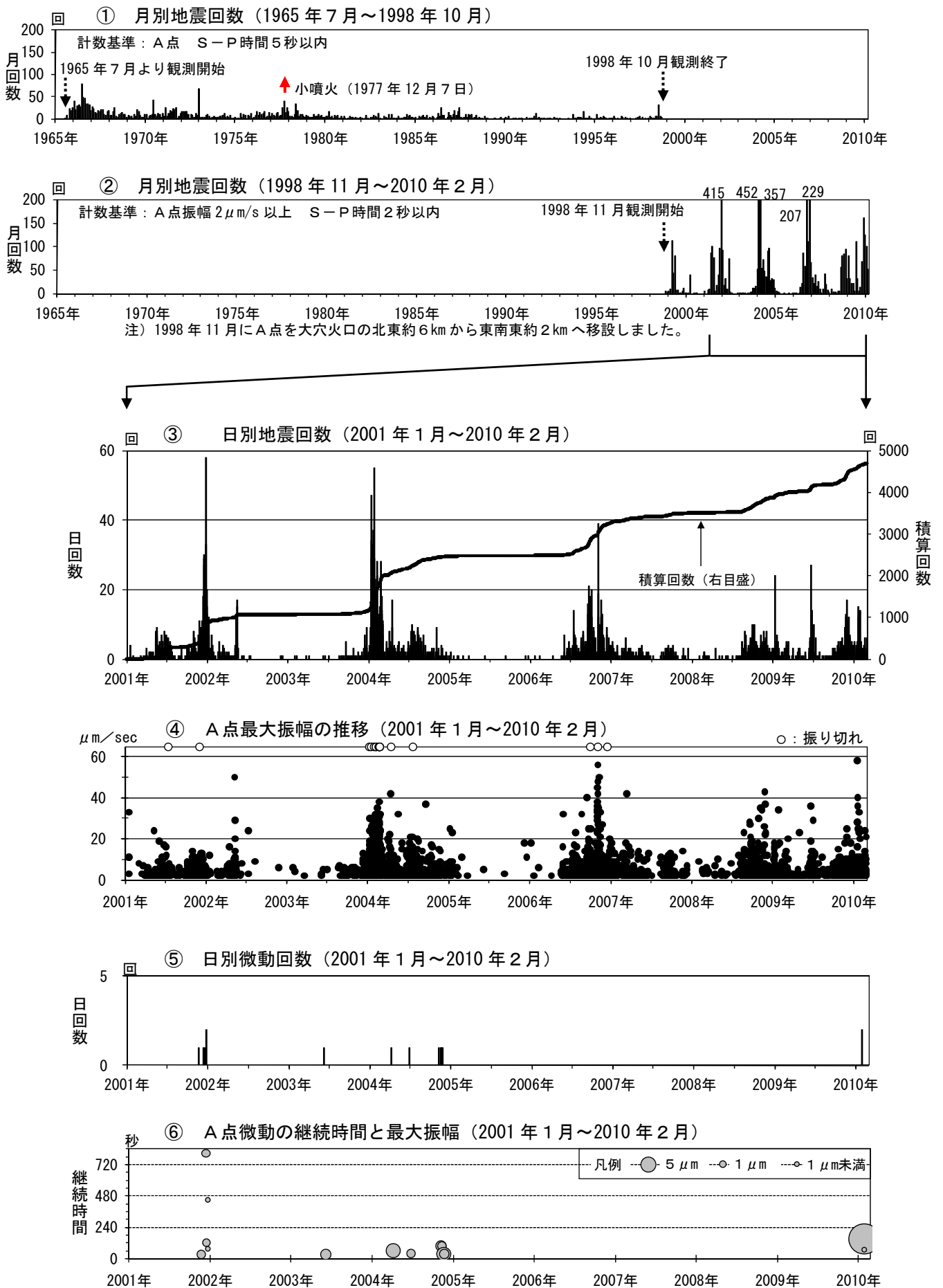


図 4 吾妻山 地震活動経過図

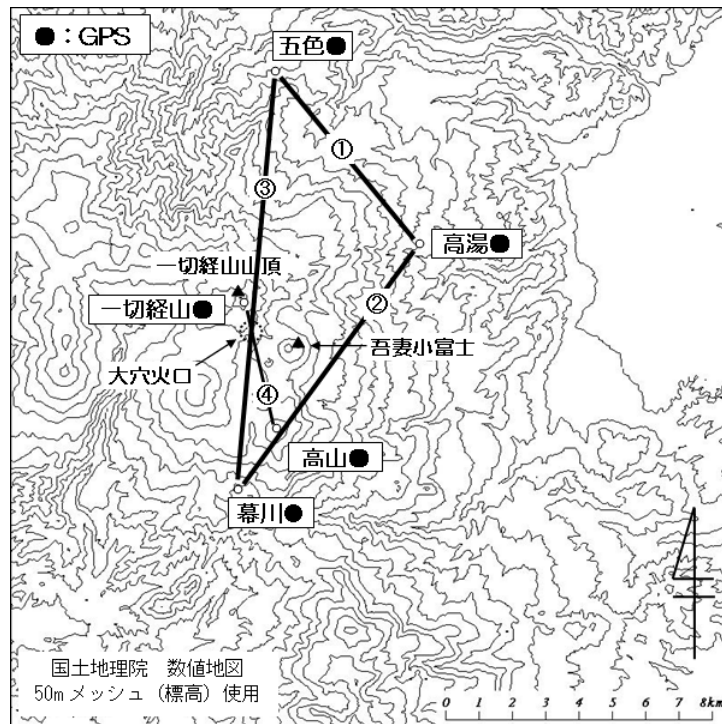


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図6の①～④に対応しています。

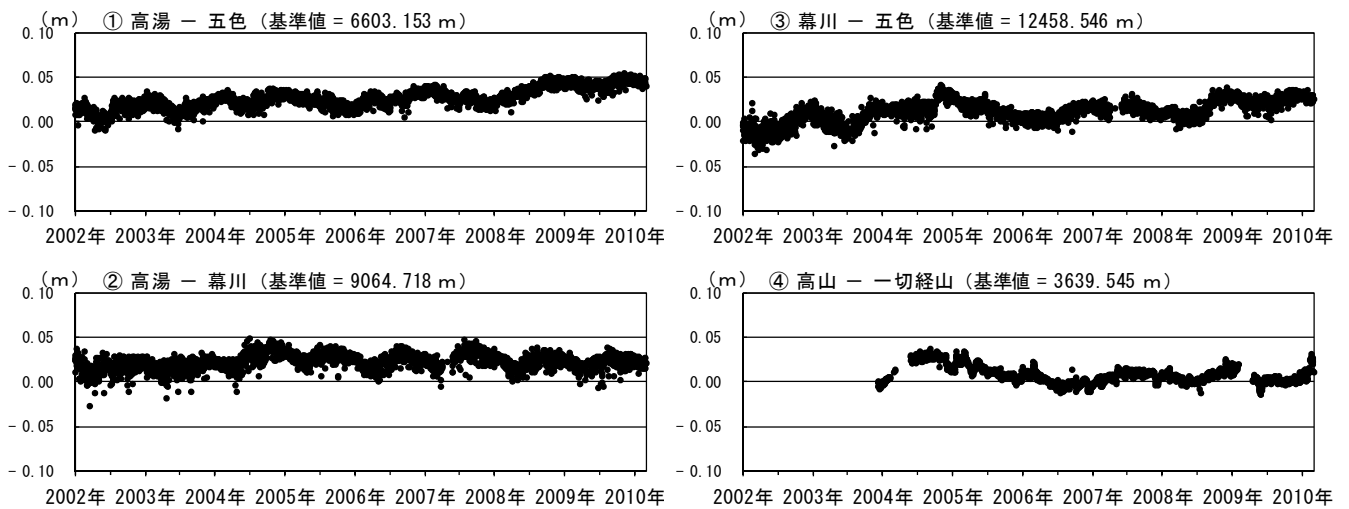


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2010 年 2 月）

①④は図5の GPS 基線①～④に対応しています。

幕川観測点と高山観測点が障害のため、一部に欠測があります。